

第2回 震災対策技術展大阪に出展しました

2015. 7

関西支店 堀口



平成 27 年 6 月 4 日（木）～5 日（金）JR 大阪駅前のグランフロント大阪にて開催された第 2 回「震災対策技術展大阪」に弊社が参加致しました。

昨年につき 2 度目の開催ではありますが、多数の企業等が出展され雨模様にも関わらず 2 日間で 8,923 名の方が来場されました。

近年の火山活動の活発化や異常気象の影響、等からか「自然災害」に対する意識の高まり、官公庁・自治体・企業関係者以外に一般の方々も多く見受けられました。

弊社では、震災時に電源を必要とせず、どなたでもお使い頂ける手押しポンプを中心に展示を致しました。昔ながらの井戸の上にちょこんとおかれた手押しポンプを思い出されて懐かしく思われる方が多い中、自治体・マンション等の建物管理会社様を中心に防災機器として様々なシーンに対応ができる「可搬式手押しポンプ Z0-Ⅲ1200K 型」やカセットコンロ 2 本で約 1 時間電動ポンプが動かせる「発電機付き給水ポンプユニット

Z0-Ⅲ-500-PMD」に大変ご興味を持たれておりました。

学校関係のお客様や個人のお客様は今の手押しポンプは50m下からでも水を汲み上げられる事への驚きの声も多く聴かれました。

近年、マンションのエントランスやお住まいの方々の憩いの場所の近く、また、近くの公園や学校でも手押しポンプを見かける機会が多くなり、年配の方々が子供たちに「昔は皆のお家に井戸があって手押しポンプで水を汲み上げた」「夏の井戸水は冷たくて気持ちがいいよ」と言っておられたのを記憶しております。



あつてはならない地震を中心とした万が一の自然災害の際、トイレを我慢するために水分補給を我慢し、血栓にて命を落とされた方々が多くおられた阪神淡路大震災を教訓として、手押しポンプの他に公園や学校でのマンホールトイレの増加という形で活かされてきております。

万が一の災害の備えを充分に行なって頂き、その万が一の災害が来ることが無く、地域のコミュニティーの憩いの場所で弊社の手押しポンプZ0-Ⅲシリーズが活躍できることを祈りながら、手押しポンプの更なる技術を発展させていきたいと思っております。